

平成30年度

我(和)がまちづくり(いしかわ地域の未来創造まちづくり事業)

活動報告書

珠洲焼の伝統を
今に伝える土産物開発



金沢学院大学芸術学部 吉田研究室

1. 事業概要

■概要 ①珠洲市の現地調査

②珠洲焼職人との座談会

③お土産品の制作実験

■開催日 ①平成30年 8月17日(金) 12:00 ~ 18:00

②平成30年 11月10日(土) 12:30 ~

11日(日) ~ 11:00

③平成30年 8月~平成31年1月

■会場 珠洲市内

■主催 金沢学院大学 芸術学部 吉田研究室

■参加者 学生7名 関係者5名 交流会参加者10名

2. 活動目的

珠洲焼は珠洲市を代表する工芸品である。珠洲焼は特殊な歴史を持ち、他の焼き物の産地と比べ市場の規模がかなり小さい。また、見た目もあまり目立つものではない。そこで、学生のアイデアで新たな珠洲焼の土産物を開発し、多くの人に珠洲焼を知ってもらうための珠洲焼の発信方法を『土産物』という点から検討した。

3. 開催記録

① 珠洲市の現地調査

参加者：学生5名、関係者2名

時間	内容
13:00	<p>道の駅すずなり前</p>  <p>道の駅すずなりの前で集合、珠洲市で活動する地域おこし協力隊の新谷健太さんのガイドで珠洲市内の各所を回る</p>

14:00

○珠洲市陶芸センター



珠洲市陶芸センターにて職員の米田初男さんから
珠洲焼について学ぶ。



▲実際に使われている窯を見学した

15:00

そのほか、
珠洲焼館・道の駅狼煙・道の駅すず塩田村を見学
珠洲市内での珠洲焼の取り扱いについて情報を得る



▲道の駅にある珠洲焼コーナー
面積が狭く、種類も少ない

18:00

解散

② 珠洲焼職人との座談会

参加者：学生4名、関係者3名、交流会参加者10名

時間	内容
12:30	<p>道の駅すずなり前集合</p>  <p>▲珠洲焼に興味があるという学生を連れ、座談会へ</p>
13:00	<p>○珠洲焼職人 篠原敬さんと座談会</p>  <p>▲篠原さんは珠洲焼職人の団体『創炎会』の会長を務められている</p>  <p>珠洲焼職人から見た珠洲焼の現状と、 珠洲焼がこれから何を目指していくのかを聞くことができた</p>

15:00

○北前船寄港地島崎家でのイベントに参加



珠洲市の住民から珠洲焼について聞き取り調査
お土産品についてのヒントを得る

21:00

日置ハウス（宿泊施設）にチェックイン
就寝

【二日目】

9:00

○珠洲焼資料館 見学



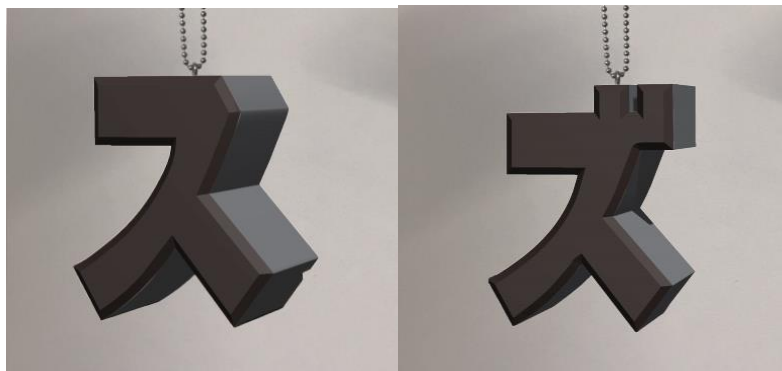
▲珠洲焼資料館館長から解説をしてもらいながら館内を見学
珠洲焼の歴史をたどりながら知識を蓄える

12:00

解散

③ お土産品の制作実験

調査の結果を踏まえ、お土産品の試作を進めた



▲試作品のイメージ

4. 事業の成果

珠洲焼に市外の人間が関わっていくことが難しいという珠洲焼の現状は、今回調査をしたからこそ分かったことである。また、1年間にわたり珠洲市内での調査を続けたことで珠洲市の方々との信頼関係を築くことができた。珠洲焼に関わるためには現地住民の協力が不可欠であり、これからスムーズに珠洲焼に関わっていくことができるだろう。

5. 参加者の声（感想・意見など）

【珠洲焼職人との座談会について】

一度、歴史が途絶えることによって開かれた可能性と自由さについてのお話が特に興味深かった。珠洲焼が途絶える前の古い歴史では、対外的な交流による影響なのか、同時期のものと比べて非常に美しい造形をしているという歴史の見解があるとのこと。そういったところを深掘りしていけば、良いお土産品の提案に結び付けられると自身は考えた。また、それが珠洲の古民家の至るところで見つかり、日常的に使われていたというのも非常に興味深い。「交流のツール」「一度途絶える」「日用品」「ピラミッド」などキーワードを結びつけ、今回の活動の意義と成果物の深度を上げるサポートをしたいと思う。

6. 課題

珠洲焼を名乗り販売するには3つの定義と条件がある。珠洲市の土は販売されておらず入手が困難であり、窯は自分たちでは用意が困難である。そのため、珠洲焼を制作するに当たり職人との連携が不可欠な上、タイミングが重要になってくる。協力関係を保ちながら、うまく連携していく必要がある。

7. 今後の活動予定

試作品のパターンを増やし、10月に行われる珠洲焼祭にて展示する予定。反応を確認し、より洗練されたものにする。また、調査を継続しながらお土産品以外の珠洲焼のカタチを研究し、新たな可能性を模索する。

8. おわりに

今回の事業は、珠洲市内の関係者や住民、そして公益財団法人『いしかわまちづくり技術センター』の方々の支援がなければ実現が難しかった。関係者の皆様に心から感謝いたします。